

おひさま保育園 七夕作品展

園長 藤井泉美

7月5日から2日間、おひさま保育園で「七夕作品展」を行いました。この作品展に向けて園児たちは七夕の由来を学び、職員と一緒に制作や飾り付けをしてきました。

織姫や彦星、天の川など、おひさま保育園がいつもと違う少しロマンチックな雰囲気になりました。願い事の短冊も飾り、保護者の方に見ていただきました。



新入職員 フォローアップ研修

事業本部 大浦圭子

8月3日、神石高原町にある辰川会グループの研修施設「山の家」で新入職員を対象にフォローアップ研修を行いました。

この研修は4月に入職した新規学卒者を対象に毎年行っているもので、入職後の振り返りをしたりチームワークを育むグループワークに取り組んだりします。今年は10人の職員が参加しました。



例年は涼しいと感じることすらある神石高原町の山の家も、この日は予想以上の厳しい暑さでしたが、水分補給や休憩を挟みながら、同期の絆を深めていました。新入職員の皆さん、お疲れ様でした。

赤ちゃんが誕生しました★



山陽病院 看護師 田邊 悠さん
2024年3月出産 第1子(女)

山陽腎クリニック 看護師 大西 優実さん
2024年4月出産 第2子(女)

医療事業部 新入職員歓迎ボウリング大会



ふれあい

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



138
2024.8発行
TAKE FREE

辰川会 広報誌

第1回 さんよう健康フェスティバル

事業本部 副主任 瀬尾昌展

5月25日、山陽病院で第1回さんよう健康フェスティバルを開催しました。検査コーナー、体験コーナー、展示コーナー、模擬店など様々な企画を行いました。当日は私たちの想像以上に多くの方がお越しください、大盛況でした。ご来場、ご協力くださいました皆さま、誠にありがとうございました。



認知症初期集中支援チーム

在宅医療推進マネジャー 遊佐美香

山陽病院では福山市の委託を受け、認知症サポート医をはじめ、医療と介護の多職種で「認知症初期集中支援チーム」を結成し活動することになりました。

明らかに認知症の症状が出ているのに家族が受診を促しても自覚がなく拒否されたり、気分の変動が激しく家族の力だけではどうしていいかわからない…そんなときは認知症初期集中支援チームが動きます。相談の連絡が入るとすぐに自宅へ向かいます。お困りごとをしっかりと伺い、今後どのようにすればいいのか、認知症への対応方法も含めて丁寧にお話します。適切な医療・介護サービスへとつながるまでサポートします。費用は掛かりません。

2040年には高齢者の6.7人に1人が認知症になると推計

されるなど、その数は年々増えています。それぞれの強みと経験を生かして、地域の方々のお困りごとに寄り添いながら解決していきますので、ぜひ私たちを頼ってください。

相談は地域包括支援センターにお寄せいただき、その後、認知症初期集中支援チームによる支援に移ります。身近な人が認知症かなと思ったら、まずはお近くの地域包括支援センターへご相談ください。



【医療法人辰川会】

山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel (084) 923-1133(代) Fax (084) 923-1158

山陽腎クリニック 人工透析科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel (084) 928-5500(代) Fax (084) 928-5535

山陽ぬまぐま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科
〒720-0311 福山市沼隈町草家2031-1 Tel (084) 960-0034(代) Fax (084) 967-3450

【社会福祉法人さんよう】

特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市草戸町5丁目8番24号 Tel (084) 973-9911(代) Fax (084) 928-9968

特別養護老人ホームしんがい
〒721-0955 福山市新庄町3丁目19番27号 Tel (084) 961-3956(代) Fax (084) 9261-3950

特別養護老人ホームひかり
〒720-0831 福山市草戸町3丁目6番1号 Tel (084) 961-3480(代) Fax (084) 961-3484

第4回 福山透析学術講演会

山陽病院 透析室 臨床工学技士 主任 石原央子

7月6日、医療法人辰川会が企業と共催して第4回福山透析学術講演会を開催しました。今回は、「Happy透析ライフ～アクセス医からの提言～」というテーマで、大川VA透析クリニックの大川博永院長にバスキュラーアクセス(シャント)についてご講演いただきました。

バスキュラーアクセスとは、血液透析を行う際に血液を脱血したり返血したりするためのアクセスルートのことです。大川先生は透析治療に不可欠なバスキュラーアクセスの作製や修復治療に尽力されています。今回の講演では、シャントトラブル時の修復治療や穿刺時の痛み

を軽減させる取り組み、ドライウェイトの調整法(体の中の水分を適正な状態にすること)など、多岐にわたる話をされました。大変興味深い内容で、70名を超える参加者が集まり、盛会となりました。私たちが患者様の負担をより一層軽減できるように、最善の医療を提供していきたいと思っております。



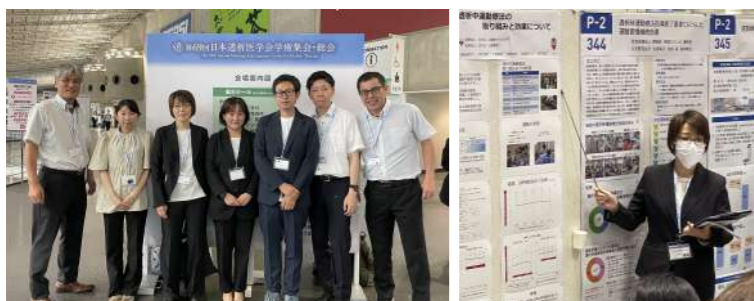
第69回 日本透析学会学術集会

山陽腎クリニック 看護師 藤谷牧子

6月7日から3日間、横浜市で開催された日本透析医学会学術集会に参加し、私は山陽腎クリニックで透析患者様が半年間にわたって取り組まれた運動療法の効果を発表しました。

透析患者様は週に3回4～5時間ベッドでの安静が必要のため、慢性的な運動不足、さらに食事制限によりサルコペニア状態になりやすくなります。そのため、筋肉量の維持や、筋肉の低下を防ぐための運動療法が重要といわれており、山陽腎クリニックでは2023年から運動療法を取り入れました。このたび半年間、継続的に取り組みを行った結果、個々の運動能力や状態に応じた工夫が必要だとわかりました。

医療法人辰川会からは例年以上の7題の発表があり、これからも患者様にとって役に立つ研究をしていきたいと思っております。



第6回 岡山臨床工学技士会で「活躍賞」を受賞

6月23日、岡山済生会病院で開催された岡山県臨床工学技士会の通常総会において、山陽腎クリニックの臨床工学技士の宮田誠治教育主任が「OKACET Special Award 2024」個人の部で活躍賞を受賞しました。この賞は、今年度新たに設立されたもので、臨床工学の発展に貢献した人に贈られるものです。宮田主任は職場の環境改善に貢献

し常に前向きでポジティブな姿勢を示していることが評価されました。受賞に際し、宮田主任は「受賞できたことは私一人の力ではなく、これまで支えていただいた様々な方々のお力添えがあってこそです。この受賞を励みに、今後も精進してまいります」と述べていました。



外部発表

第34回 日本臨床工学会 5/18 フェニックス・プラザ in 福井

- ・Excelを使用したバスキュラーアクセス管理システムの構築(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 赤柴徹真
- ・JMS社製GC-X01搭載のClit-Sign Monitorを用いたDry Weight(DW)評価の検討(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 井本琢也

第69回 日本透析医学会学術集会 6/7～9 パシフィコ横浜

- ・心音図デバイスを用いたシャント音の評価(口演発表) 山陽病院 外科部長 医師 毛利教生
- ・腹膜透析カテーテル先端位置異常に対して治療を要した3例(口演発表) 山陽病院 外科 医師 橋本慎二
- ・当院における栄養評価・改善の取り組み(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 佐野優子
- ・当院における穿刺マイスター制度と血液難易度分類のシステムについて(口演発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 井本琢也
- ・ヘモダイアルフィルタ別によるα1-MG除去とAlbの分離能の比較(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 大山徹
- ・High Frequency I-HDFの使用経験について(口演発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 富永雄介
- ・透析中運動療法の取り組みと効果について(ポスター発表) 山陽腎クリニック 看護師 藤谷牧子

第1回 腎臓病教室

事業本部 廣松八重美

山陽病院では今年度、腎臓病教室を3回にわけて開催します。初回となった6月29日は、辰川匡史理事長が、腎臓に関する基礎知識や、腎臓病の効果的な予防方法について講演しました。

腎臓の機能は、一度低下すると回復が難しいと言われています。そのため、正しい知識を持ち、日頃から腎臓に負担をかけない生活を送ることが大切です。この日は辰川理事長の講演に加え、理学療法士が誰でも取り組める簡単な健康体操を紹介しました。参加者の方は熱心に耳を傾けられ、体操にも積極的に取り組まれていました。



今後も、管理栄養士や臨床検査技師などがそれぞれの専門知識を生かして腎臓病予防についての講演を行います。次回は10月を予定しており、山陽病院にて改めてご案内する予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

多職種で認知症を学ぶ会

特別養護老人ホームひかり 介護支援専門員 竹内康晃

辰川会グループでは毎月第3木曜日にアポーデひかりで「多職種で認知症を学ぶ会」を開催しており、毎回、グループの内外から多数の参加があります。6月の学ぶ会は、社会福祉法人さんようの辰川和美理事長が講師を務め、今年の春に行ったカナダの視察報告でした。

介護支援専門員の私は日頃から認知症の人と接する機会が多く、日本の認知症の施策や取り組みについては学んできました。しかし、海外の認知症ケアの実状はほとんど聞いたことがなかったため、私にとっては目から鱗が落ちるような話ばかりでした。特に、「ビレッジ」という介護

施設の話が印象的でした。施設にカフェやレストラン、スーパーマーケット、映画館などが併設され、認知症の人が違和感なく日常生活を送れるよう配慮されたこの“認知症村”は、高額ながらも多くの入所者で賑わっているそうです。日本では昨年、認知症基本法が制定され、共生社会の実現を目指す動きが高まっていますが、一歩も二歩も先を行く海外の事例はとても勉強になりました。

このように知識を深めることができたり、認知症ケアに関わる人同士で情報交換や交流ができたりするのがこの会の良いところです。皆さまもぜひお気軽にご参加ください。会場参加以外にもZOOMでの参加もできます。お問い合わせは、地域包括支援センター野上までお願いします。



地域包括支援センター野上
TEL 084-921-0210

近畿大学附属広島高等学校福山校 夏季インターンシップ受入

事業本部 内田秀樹

8月1日、「地域医療」をテーマに研究活動を行っている近畿大学附属広島高等学校福山校の1年生7人が山陽病院に来院されました。この日は、研究の中で生じた疑問や、もっと知りたいと感じたことなどを自分の目で確かめようということで、研究の内容を発表しながら病院職員と意見交換をしたり、院内見学を行いました。

少子高齢化が進み、地域医療は様々な問題を抱えています。これは病院で働く私たちはもちろんのこと、地域社会全体で考えていかなければ

ならないことですが、若い世代の皆さんが問題意識を持って研究をしている姿はとても頼もしく見えました。院内を見学している時のまっすぐな眼差しからは、インターンシップを受け入れた私たちも多くの刺激をいただきました。

